

## 令和4年神奈川県議会第1回定例会 防災警察常任委員会

令和4年3月18日  
意見発表

### 佐々木(正)委員

当委員会に付託された諸議案について、公明党として意見、要望を申し上げます。

まず、くらし安全防災局関係についてです。

初めに、地域防災計画の修正等を契機とした防災力の強化についてです。近年、日本列島各地では地震や風水害が発生しており、本県の人口は900万人を超えており、仮に大規模災害が発生すれば被害は甚大で、被災者数も過去の災害とは比較にならないことになることが想定されます。

今回の常任では、地域防災計画の修正や地震防災戦略の中間検証が報告されていますが、我が会派では、平時からの災害対策の重要性を指摘し、様々な提案を行ってまいりました。今回の地域防災計画の修正を契機に災害対策の一層の充実が図られると思いますが、その際には、想定外の事態も考慮した上で、被害が最小限に抑えられるよう取り組んでいただくことを要望いたします。

次に、被災地への派遣業務を本県の防災対策に生かす取組についてです。県は、我が会派の予算委員会等での提案で、平成29年6月に派遣職員が現地での活動を通じて得た意見等をまとめた東日本大震災の復興対策に従事した職員からの意見とその対応という意見集を作成し、現在でも県ホームページに掲載されていると承知しております。

東日本大震災から11年が経過し、被災地の状況や復興に向けたフェーズも変化してきており、現地ではさらなる復興に向けて新たな課題も出てきていることから、改めて派遣職員の経験や意見などを取りまとめ、整理することが必要だと思います。未曾有の大災害を風化させることなく、被害に遭った被災地や被災者への支援を継続していくとともに、この事業を通じて得た経験をいつ起きたてもおかしくない本県での災害の備えに着実に生かしていくことを要望いたします。

次に、消防の技術の向上についてです。我が会派の代表質問で消防職員の技術の向上を取り上げましたが、特に消火技術に関しては、全国的に出火件数が減少傾向にあり、消防職員の消火経験の不足から消火活動能力や危機予知能力の低下が懸念されております。

県は、現在改定作業を行っている地域防災計画において、消防職員の消火技術の向上に取り組むことを掲載すると報告を受けました。特に全国初となるテキストの作成により、消火技術も含め、火災対応の訓練も充実するとしております。また、消防学校では、県内消防本部を交えて教育訓練5カ年計画を策定し、長期的なビジョンを見据えた消防職員教育の充実に取り組むとのことであります。

地域の消防力の強化には、消防職員の技術の向上を図ることが必要であります。新たに導入する訓練施設を活用するなど、教育訓練を充実させて消防職員

の技術の向上にしっかり取り組んでいただくことを要望いたします。

次に、警察関係の要望をさせていただきます。

運転免許センターの日曜学科試験のオンライン予約等についてです。運転免許センターの日曜日の拡大支援については、県民の皆様からの御指摘、御要望を受け、これまで日曜日の導入を強く要請してまいりました。県警は、今年2月から平日のオンライン予約を導入しましたが、日曜のオンライン予約の導入及び学科試験不合格者の日曜の再受験を可能にすることも要望させていただきました。

県警は日曜日の試験のオンライン予約を4月3日に実施する試験から導入する方針とともに、不合格者の再受験についても日曜日を受け付けるとのことであります。県警の迅速な対応を評価するとともに、今後も県民目線で様々な改善を要望いたします。

次に、警察署の窓口業務についてです。警察署の交通行政窓口は現在昼休みの手続を行っておりませんが、昼休みを利用して免許更新の手続を行いたい方からは、他の行政機関と同様の受付時間を求める意見も上がっています。

そこで、デジタル化等による業務の効率化を踏まえ、今後、昼休みも更新手続を実施するよう改善を要望いたします。また、県警は、24年度末に全国でのオンラインによる講習の導入準備をしており、事務の効率化が図られることから、その中でも昼休みの運用について検討をしていただくよう要望いたします。

以上、意見、要望を申し上げまして、諸議案に賛成いたします。